

# 平成30(2018)年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」 (住まい活動助成) 活動中間報告

## 団体名

日吉台学区空き家対策委員会

## 活動のテーマ

団塊世代を中心とした住民が育む住み続けたい日吉台

## 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- 1、空き家見守り活動Aプラン対象者  
2018年3月末時点で3戸の対象であったが、現在8戸に増えました。
- 2、日吉台新聞フルカラー印刷で発行4月より
- 3、各丁自治会長と委員による空き家再調査実施しました  
2018年11月では115戸の空き家が特定されましたが、今回の再調査では96戸になりました。  
そのうち、所有者と連絡可が21戸、時折自宅に来訪するのが29戸確認されました。
- 4、勉強会の開催  
住民講師による第一回の勉強会を7月3日に実施しました。
- 5、ワークショップの開催  
第一回ワークショップを7月22日に実施しました。
- 6、他市町村との交流会  
第一回：石川県かほく市、第二回：滋賀県長浜市、第三回：富山県射水市
- 7、コンサートの開催  
・日吉台コンサート(6月17日)・ようこそ先輩(日吉台小学校6月21日)

## 今後の活動予定と平成31年3月末時点の達成予定項目

今後も上記「1」から「7」までの行事について継続実施します。

- 1、「1」については現在契約書締結が3戸なので他の所有者とも正式契約をとりたい。  
委員会の連絡対象戸数が現在8戸なので、10戸程度まで増やします。
- 2、勉強会は参加者に好評だったので、当初2回開催予定を3回実施します。
- 3、他市町村との交流会をあと2回程度、計5回実施します。
- 4、学区コンサートをあと1～2回実施します。
- 5、第一回ワークショップは男性・高齢者ばかりの参加だったので、次回12月は子育て真最中のママさんグループによる企画にします。

年度末には、学区のまちづくり、および空き家対策の主旨を住民により深く理解してもらうようにしたい。

# 中間報告：日吉台学区空き家対策委員会

## テーマ：団塊世代を中心とした住民が育む住み続けたい日吉台

昭和40年代に開発され少子高齢化が進むニュータウンの10年後を見据え、もっと住み続けたい日吉台を、団塊世代を中心に住民自らが実践することで、空き家対策の促進につなげる。

滋賀県琵琶湖西部に位置し、比叡山の山麓に開発された。計画戸数；1600戸 人口6,000人1,990年以降徐々に人口が減少、特に子供たち減少が顕著になってきている。

### ●我々が目指すまちづくり→日吉台のポテンシャルを生かす

#### 1. 住みやすいロケーション

大津市中北部に位置し比叡山や琵琶湖を望む住宅団地であり、歴史と自然を感じることができる絶好のロケーションである。

#### 2. ベッドタウンとしての魅力

徒歩15分程度でJR湖西線比叡山坂本駅、京阪坂本駅があり(両駅と団地を結ぶバスの運行あり)、湖西バイパスの下阪本ランプも近いため、大津中心部、京都、大阪への通勤圏として近隣都市部からの若年層の呼び込みが可能。

#### 3. 子育てのまちの実績

日吉台は大規模開発された当時から子育て世代が多く住み、子育ての町として実際に発展した実績を持つ。公園、幼稚園(認定こども園へ)、小学校、スーパー、金融機関がそろっておりインフラ整備がほぼ不要である

#### 4. 文化の香り高いまちづくり

学区創立以来音楽、芸術、運動など盛んで指導する人材も豊富である。今後さらにこのような活動を盛り上げ、豊かな生活を育み、楽しむまちを目指す。

#### 5. 積極的な住民自治の実績

まちの未来を検討することに不可欠な住民自治が根付いており、かつ、その情報がホームページや「日吉台新聞」などで公開されている。これはまちづくり検討するにあたって必要不可欠な高い住民自治が根付いている証拠である。

### ●これまで、および今後の活動

#### 1、メディアによる情報発信

(学区ホームページや日吉台新聞を通し学区の特徴、住み良さを公開する)



#### 2、ようこそ先輩コンサート 日吉台コンサート

(●日吉台小学校卒業の先輩と接し豊かな心をはぐむ場としたい  
●一流の演奏家を招聘し、住民の文化教養の向上につなげる)



#### 3、ワークショップ、勉強会の開催

(住民の講師による勉強会やワークショップを開催しまちづくりに対する啓発活動を行う)



#### 4、他市町村との交流会

(他の市町村を招いての交流会や、先進地視察を行う)



#### 5、空き家の見守り活動

(空き家所有者との信頼関係を構築し、見守りAプラン対象戸数を増やす)

